

『今日は、東円寺の古文書を紹介することになっておったのう。忍野八海についての古文書は幾つもあるからのう。何から紹介しようかのう』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター



『講左衛門さん、おいらは、第12代輪王寺門跡有栖川光紹法親王様から頂いた、菊の御印紋のお話を聞きたいでまっすん。有栖川門跡様は、天皇家の血筋を引く人ときいたでまっすん。』  
『本当にクニマッスは、勉強しておるんじゃな。その通りじゃ。16枚の菊の御紋は、天皇家と、天皇家から特別に許可されたものでなければ使えない尊い紋なんじゃよ。忍野八海が再興したことを聞いた有栖川門跡様は、飢饉から村人を救うという大義を成しえた友右衛門にお褒めの言葉を下さったんじゃ。その時に菊の御印紋の印も一緒に授かったんじゃよ。』  
『講左衛門さん、印とは、なんでまっすん。』

『現在でいう、判子じゃよ。東円寺には、その判子も残っておるぞ。』  
『でも、現在残っている判子が、有栖川門跡様から頂いたものか分からないでまっすん。』  
『そうじゃな。しかしな、古文書には、しっかりと菊の御印紋が捺印されておるんじゃよ。証拠じゃ、証拠。昔の人の知恵は凄いんじゃ。さて、この菊の御印紋を頂けたお陰に、忍野八海は人気を集め、講中が増えたんじゃよ。有栖川門跡様は、御印紋だけではなく、「富士登山の際は必ず忍野八海を巡拝し、忍草浅間神社に参詣し、東円寺に届け出ること。その時、青銅20疋(20文か)をもって、神前で印紋を授けること。」このような内容の古文書が残っておるんじゃよ。忍野八海誕生は、多くの人の知恵が詰まっておるんじゃ。』



『感動したでまっすん。でも、現在では皆に忘れられてしまっているでまっすん。どうしてでまっすん。』

『明治の廃仏毀釈によって、富士講は衰退したと考えておるんじゃ。先ほど話したように、東円寺と忍草浅間神社は一体であったんじゃが、政権交代によって、お宮とお寺は無理やり分けられてしまったんじゃから、人々も困惑しただらうのう。』

『講左衛門さん、現在分かっていることは、今、皆に伝えなければいけないでまっすん。次は、何を紹介してくれるでまっすん。』

『忍野八海を再興した時の、収支決算書の紹介をしようかのう。今年も残り23日じゃ。良い年をお迎えしたいのう』

ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定  
年末休刊のお知らせ

12月22日(第4日曜日)はお休みさせていただきます。